

県内初の公共マリナーを備えた複合観光施設は 海と親しむ憩いの空間として評判

いとう file16 伊東港

対象施設 白石地区白石マリンタウンプロジェクト
供用 平成13年

五感で海を体感・体験する「海感体験」をコンセプトに、商業施設、日帰り天然温泉施設、観光情報センターと、300隻余の収容が可能な県内初の公共マリナーを備えた地域の観光拠点「伊東マリンタウン」を静岡県、伊東市、第3セクターと役割分担して整備を進め、平成13年4月に「伊東サンライズマリナー」が一部供用開始、7月には陸域の「伊東マリンタウン」がグランドオープンした。

平成14年には“道の駅”に指定され、さらには海上保安庁が提唱する「海道の旅（マリンロード）構想」における“宿場町”にも位置付けられる。平成14年6月には海洋レジャーの安全指導や警備救難業務を行う「マリンレジャー相談室」が開設され、名実ともに伊豆東海岸の海洋性レクリエーションの拠点となっている。



●伊東サンライズマリナー



平成16年1月時点で海上100隻、陸上51隻の収容施設が整備されているが、そのうち会員数107名のプレジャーボートを保管している。ビジターパスについては、年間510隻（平成15年）の利用がある。

●伊東マリンタウン内部



平成13年7月15日のグランドオープン後、8カ月を経過した14年3月14日には来場者が100万人を突破し、平成15年の利用者数は180万人。



●複合観光施設伊東マリンタウン